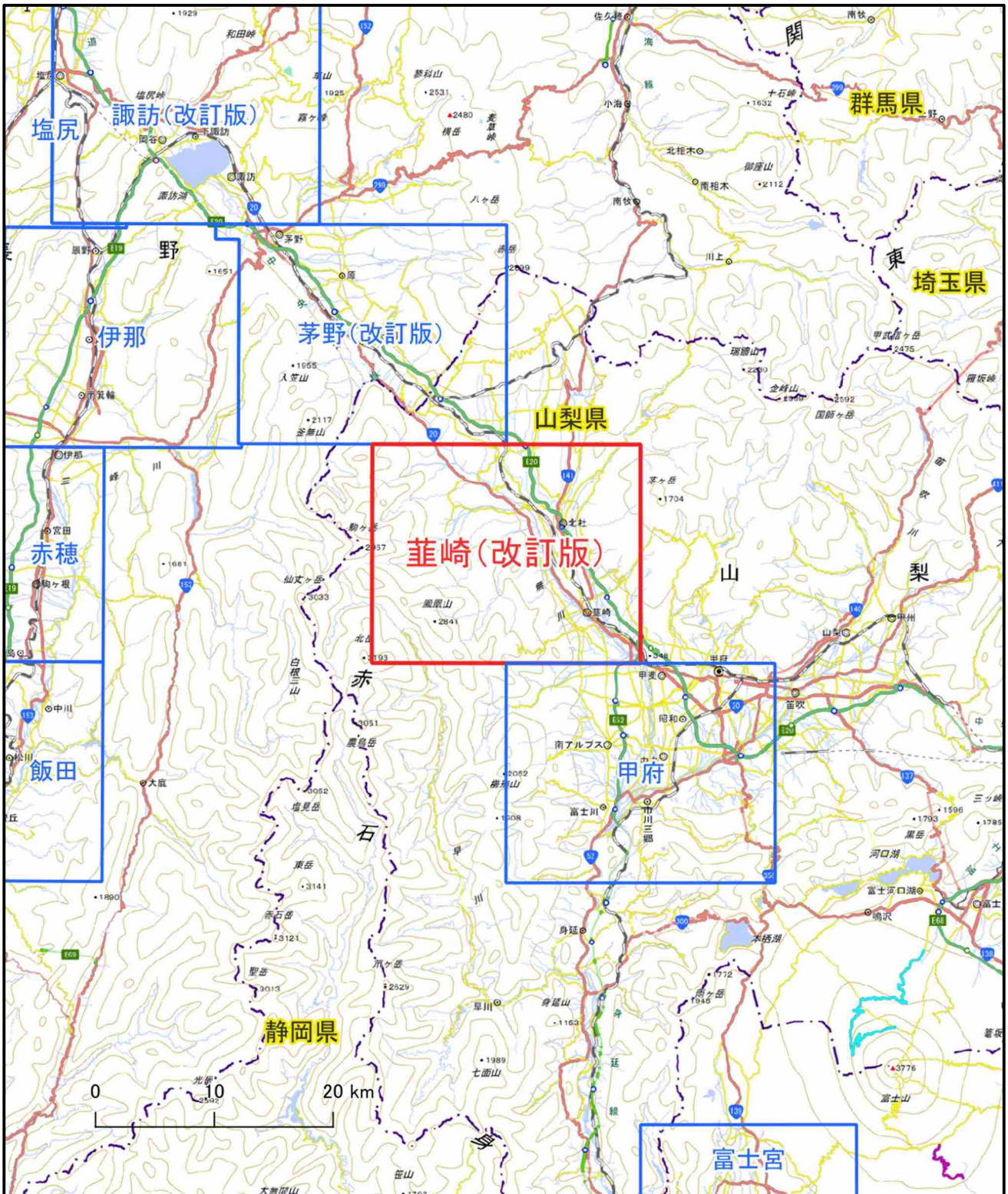


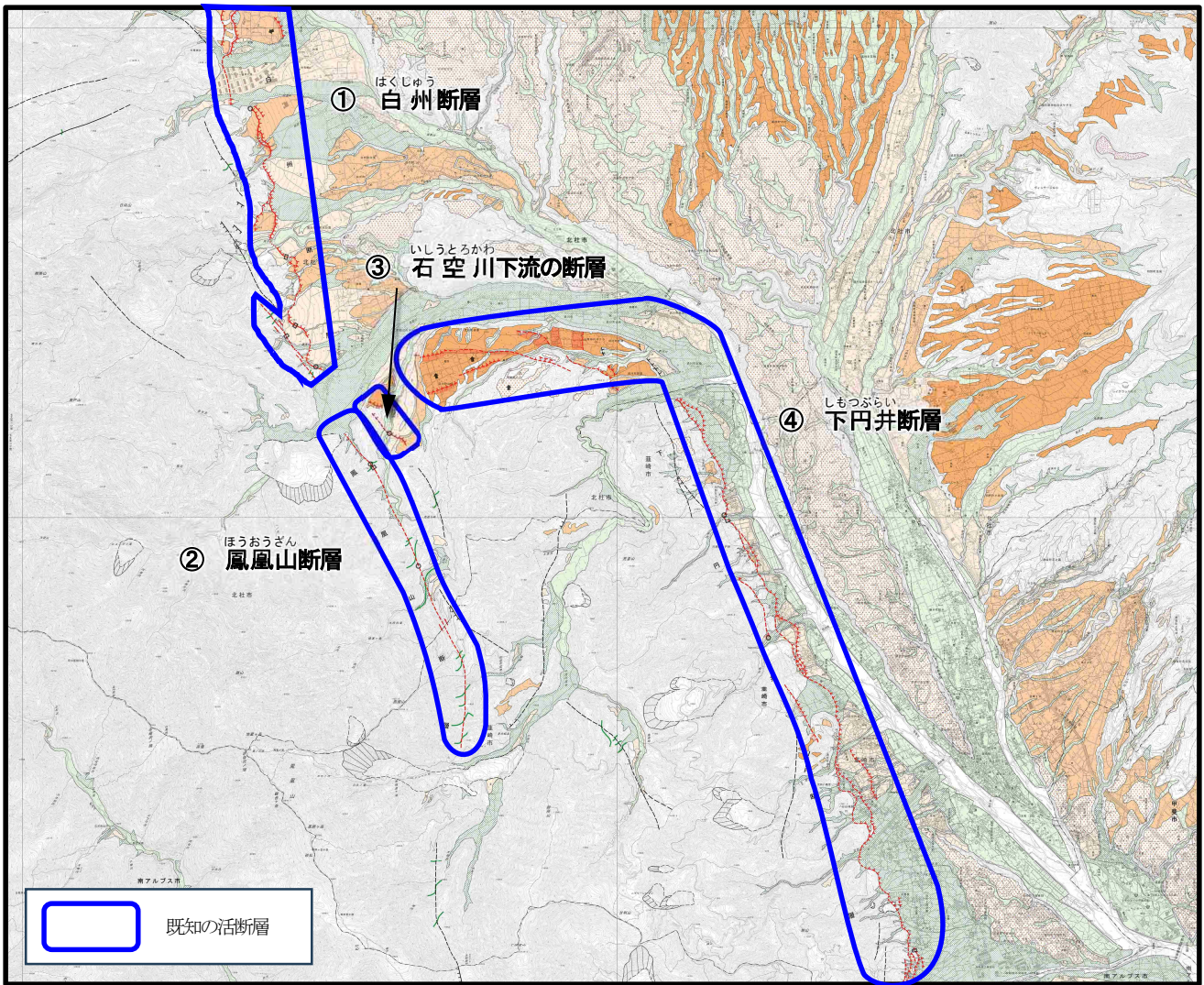
1:25,000 活断層図 糸魚川-静岡構造線断層帯とその周辺「韮崎 改訂版」



新たな公開図郭  公開済図郭

# 概要

## 1. 1:25,000 活断層図「葦崎 改訂版」



## 2. 今回の調査で得られたこと

「ひら 葦崎 改訂版」の図には白州断層約 7km、鳳凰山断層約 6.5km、石空川下流部の断層約 1km、下田井断層約 15km と、その他の推定活断層を示しています。示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	<small>はくしゅう</small> 白州断層	<p>本図における白州断層は隣接する「茅野 改訂版」図郭と接する図郭の北端から北杜市白州町大坊<sup>だいぼう</sup>まで、山地と低地の境界付近を北北西－南南東方向に延びる長さ約 7km の、全体的に屈曲に富み、大局的には縦ずれ<sup>*</sup>の変位、一部に活撓曲<sup>*</sup>や傾動（隆起により地表が傾く運動）を伴う活断層です。</p> <p>断層の南端部は、東側と西側の性質の異なる 2 条の断層に分かれています。</p>
②	<small>ほうおうざん</small> 鳳凰山断層	<p>北杜市の<sup>やぶのゆ</sup>藪ノ湯付近から葦崎市のドンドコ沢付近まで、山間部を北西－南東～南北方向に延びる、左横ずれ<sup>*</sup>変位が卓越した長さ約 6.5km の活断層です。</p>
③	<small>いしうとろかわ</small> 石空川下流部の断層	<p>石空川を横断し、北西－南東方向に延びる長さ約 1km の縦ずれの変位を伴う 2 条の活断層です。</p>
④	<small>しもつぶらい</small> 下田井断層	<p>本図における下田井断層は、白州断層の南端から大きく東にステップし、東流する大武川の右岸に沿って分布する段丘面に東西走向の断層群を構成しながら、小武川付近で走向を北北西－南南東方向に変え、山麓に沿うように延びる屈曲に富んだ長さ約 17km の活断層です。</p>